



A T L A S



# Hybrid Power Amplifier Owner's Manual

# 目次

---

1. はじめに	P. 2
2. 保証について	P. 3
3. アプロード・メンテナンス・プログラムについて	P. 4
4. 個人情報の取り扱いについて	P. 5
5. 安全上のご注意	P. 6
6. 同梱物の確認	P. 8
7. 設置場所について	P. 8
8. フロントパネルの説明	P. 9
9. リアパネルの説明	P. 10
10. 接続について	P. 11
11. 使用方法	P. 13
12. エラー表示について	P. 17
13. 仕様	P. 18

# 1. はじめに

---

アトラス パワーアンプをお買い求めいただき、ありがとうございます。このパワーアンプは、お持ちのソースから可能な限り最高の音楽を引き出すために設計されたものです。

本機は最高グレードのパーツにより構成されています。Roedersteinメタルフィルム抵抗、ポリスチレンコンデンサ、ポリプロピレンコンデンサ、電解コンデンサ、低ノイズ真空管、ガラスエポキシデュアルモノ基板、低磁束パワートランスフォーマーなどです。

本機の特徴をよくご理解になり正しく使用していただくことによって、素晴らしい音楽をお楽しみいただくことが可能です。末永くご愛用いただくためにも、ご使用前に必ず本書をお読み下さいますようお願いいたします。

## 2. 保証について

---

### 製品の保証について

- ・ 製品の品質管理につきましては万全の体制を取っており、厳密な検査を経て出荷しておりますが、万一製品上の不備による自然故障が生じましたら弊社の保証規定に基づき、保障期間内であれば、保証書をご提示頂くことにより無償にて修理をさせていただきます。
- ・ 製品の保証は、正規販売店より新品の状態でご購入いただいた場合に限りさせていただきます。第三者よりの譲渡、あるいは中古店でのご購入による場合は、保証の適用対象となりません。この場合は保証登録カードにご記入・ご返送いただいても保証書は発行いたしませんのでご了承ください。
- ・ 尚、保証期間内であっても、保証書記載のご氏名と異なる方がご使用になっている場合には保証は適用されません。

### 保証書の発行について

- ・ お手数ですが、同梱しております保証登録カードに必要事項をお書きの上ご投函下さい。弊社にてご愛用登録を行い、同時に保証書を発行させていただきます。保証書が発行されないと、保証期間内であっても有償修理とさせていただきますのでご留意ください。大変お手数ですが、保証登録カードのご返送を忘れないようお願いいたします。

### 3. アプルーブド・メンテナンス・プログラムについて

---

- ・ ご愛用の製品を常に最良の状態でご使用いただくために、製品輸入元による純正製品点検プログラム『アプルーブド・メンテナンス・プログラム』をご用意しております。
- ・ 特に現在故障しているというわけではなくとも、長年の使用により、製品の各部に劣化が見られる場合があります。アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検・整備により故障を未然に防ぎ、常に最良のコンディションで製品をご愛用いただけます。また、アプルーブド・メンテナンス・プログラムにて点検・整備された製品につきましては、1年間の製品保証が付属されます。

#### 費用について

- ・ アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、有償にて行います。費用は機器のグレードと製造後の年数によって異なります。費用のお見積りは、お買い求めいただいた販売店もしくは輸入元までお問合せください。

#### 対象除外品について

- ・ お客様ご自身あるいは第三者など、当社技術部門以外の手による改造品につきましては、初期性能を保証することができませんので、アプルーブド・メンテナンス・プログラムの対象外とさせていただきます。
- ・ 製造終了後9年を経過した製品は基本的にアプルーブド・メンテナンス・プログラムの対象外とさせていただきます。長年ご愛用いただいた製品がアプルーブド・メンテナンス・プログラムの対象かどうかは、お買い求めいただいた販売店もしくは輸入元にお尋ねください。

#### 点検整備について

- ・ アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、実働・機能に関わる部分のみとなります。外観の整備は含まれません。
- ・ アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、対象製品が実働することが前提となります。修理が必要な場合には、修理品扱いとなります(アプルーブド・メンテナンス・プログラムの点検費ではなく、基本修理費が適用となります)。
- ・ アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検整備により、消耗部品、劣化部品などの交換が必要な場合には、別途部品代実費をご請求いたします。

#### お申し込みについて

- ・ アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検・整備のお申し込みに関しては、お買い求めいただいた販売店をお願いします。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

---

- ・ 弊社では、お求めいただいた高価な製品を末永くご愛用いただくために、アフターサービスをご提供する目的で、製品に付属の「保証登録カード」にご記入・ご送付いただいてから「保証書」を発行するという方式を採用しております。お手数ではございますが、何卒主旨をご理解のうえご協力を賜りますようお願いいたします。
- ・ 尚、「保証登録カード」にご記入、ご返送いただいたお客様を識別・特定し得る個人情報につきましては、弊社にて適切に管理することを社会的責務として重要と考え、下記の基本方針に基づき、お客様情報の保護、管理を徹底することを誓約いたします。

### 「保証登録カード」にご記入いただいたお客様情報の利用目的について

- ・ 当社が得たお客様情報は、以下の目的以外には利用いたしません。
  - ・ お客様へのアフターサービス業務の基礎資料として
  - ・ 弊社より発信するダイレクトメール等情報のお届けのため

### お客様情報の管理について

- ・ 当社はお客様情報を取り扱う管理責任者を置き、紛失、漏洩、不正な第三者提供などが無いよう、お客様情報の取り扱いに十分な注意を払います。

### 収集したお客様情報の第三者への提供、開示について

- ・ 収集したお客様情報をお客様のご許可なく弊社以外の第三者に提供することはありません。但し、お客様と当社間で製品の配送等のために、お客様に明示することなく委託業者に対しお客様情報の一部を開示することがございますが、利用目的の必要範囲内に限定してこれを行います。尚、この場合にあっては委託業者に対し、お客様情報を他の目的に使用、もしくは開示しない義務を履行させるべく対応します。

### 情報発信の停止とお客様情報の削除について

- ・ 弊社では、製品をご愛用いただいておりますお客様に、新製品やイベントの情報等を郵便や電子メールにより発信させていただいておりますが、ご不要の場合にはお客様からのお申し出により差止めさせていただきます。
- ・ お客様よりお客様情報の削除の申し出があった場合には速やかにこれを削除いたします。

## 5. 安全上のご注意

---

### **重要！！**

本機筐体内部には、非常に高い電圧が流れています。感電の危険性がありますので、本機のトップ、あるいはリアパネルを絶対に外さないでください。

### **警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じることが予想される内容を示しています。

### **注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

## **警告**

---

### **濡らさない**

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

### **電源ケーブルは大切に**

電源ケーブルを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。電源ケーブルが傷んだら、直ちに販売店にご依頼ください。

### **ご使用は正しい電源電圧で**

設定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

### **雷が鳴り出したら**

電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

### **この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない**

こぼれた場合、火災・感電の原因となります。

### **機器の上に物を載せない**

本機の上に他の機器や物を絶対に載せないでください。通気が不十分になることで過度の加熱を招き、発火の恐れがあります。

## 注意

---

### **電源ケーブルを熱器具に近づけない**

ケーブル被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

### **電源ケーブルを抜くときは**

電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

### **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

### **機器の接続は説明書をよく読んでから接続する**

接続をする場合は、電源を切り、各々の機器の取り扱い説明書に従って接続してください。

### **不安定な場所に置かない**

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、怪我の原因となることがあります。

### **次のような場所には置かない**

火災・感電の原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所

### **お手入れの際は**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



## 6. 同梱物の確認

---

本機の Kartonの中には、以下のものが同梱されています。

- ・ ATLAS本体
- ・ 電源ケーブル
- ・ オーナーズマニュアル(本書)
- ・ 保証登録カード

### ご注意！！

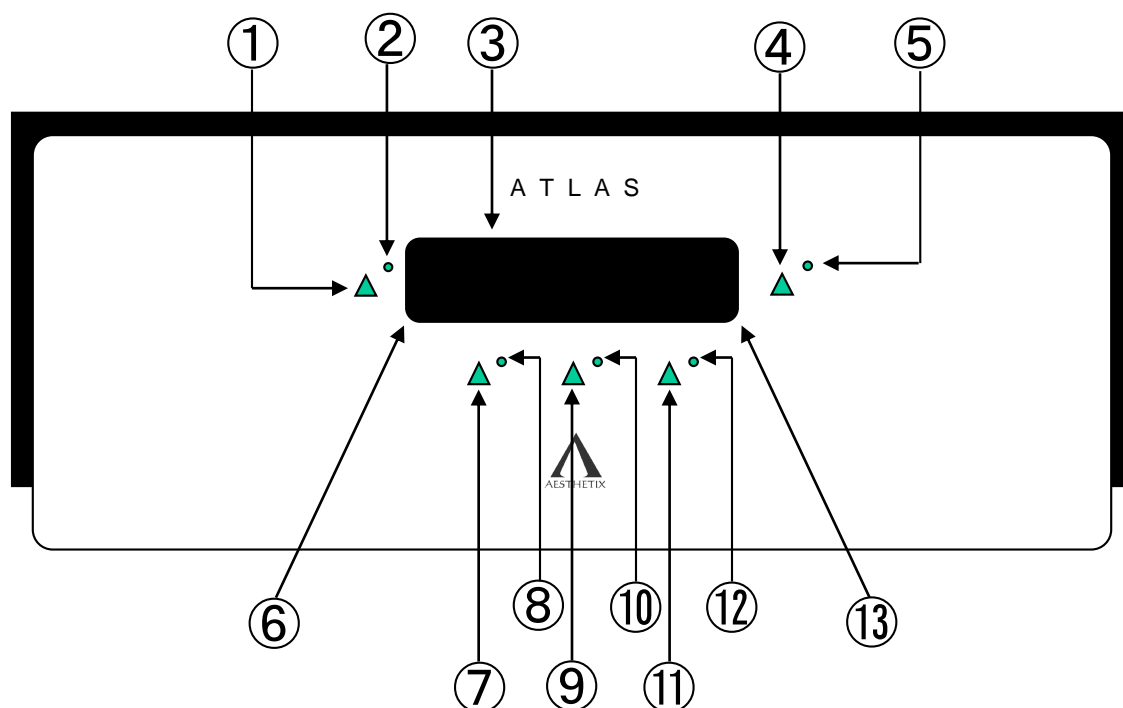
修理などで本機を輸送する必要があるときのために、Kartonは大切に保存しておかれることをお奨めします。

## 7. 設置場所について

---

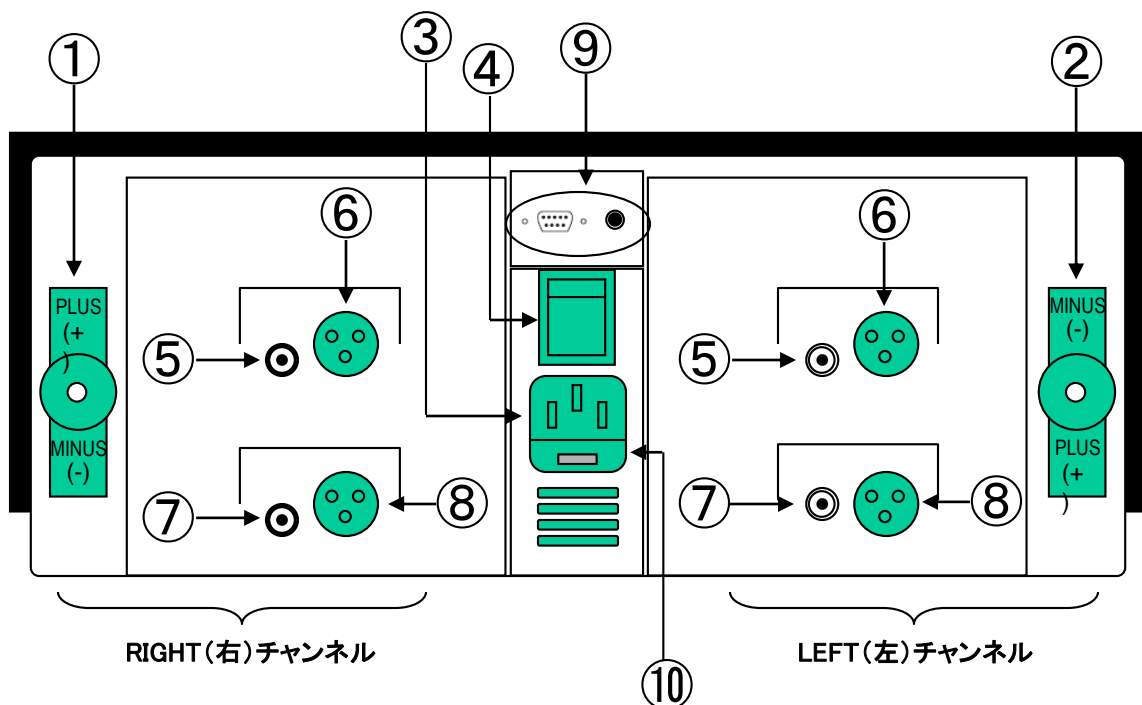
- ・ 本機は、ハムノイズの原因になりうるもの、電源ケーブルやパワートランスフォーマーなどからはできるだけ離して設置してください。
- ・ 熱が発生する、他のパワーアンプやパワーサプライなどの機器からはなるべく離してください。
- ・ 本機を直射日光やストーブ、断熱材、ラジエーター、その他の熱が発生するもののそばには置かないでください。
- ・ 本機は、必ず通気の良い場所で使用してください。通気が適切でないと、過度の加熱を招き、本機あるいは周辺の機器に損傷を与えたり、場合によっては出火の恐れがあります。最低でも10cm左右の壁から離してください。同様に上部は15cm以上開けるようにしてください。
- ・ 過度の加熱を防ぐために、本機の上または下に機材を積み重ねないでください。
- ・ 本機は必ず硬い床あるいはラックの上に置くようにし、カーペットなど柔らかいものの上には置かないでください。

## 8. フロントパネルの説明



- ①DISPLAY(ディスプレイ)スイッチ:ディスプレイの表示とLEDのオン=オフを切り換えます。
- ②ディスプレイLED
- ③表示窓
- ④MUTE(ミュート)スイッチ:ミュートオン=オフを切換えます。
- ⑤ミュートLED:ミュートされているとき点灯します。
- ⑥左ボタン:入力端子選択メニューまたはクロスオーバー周波数選択メニューのとき有効です。押すと数値が小さくなります。
- ⑦INPUT(インプット)スイッチ:入力端子選択メニューに移行します。
- ⑧インプットLED:入力端子選択メニューを開いているときに点灯します。
- ⑨STANDBY(スタンバイ)スイッチ:スタンバイ=オペレートの切換えを行います。
- ⑩スタンバイLED:スタンバイのときは赤LEDが、オペレートのときは青LEDが点灯します。
- ⑪FREQUENCY(周波数)スイッチ:クロスオーバー周波数選択メニューに移行します。
- ⑫周波数LED:クロスオーバー周波数選択モードのときに点灯します。
- ⑬右ボタン:入力端子選択メニューまたはクロスオーバー周波数選択メニューのとき有効です。押すと数値が大きくなります。

## 9. リアパネルの説明



- ①右チャンネルスピーカー端子: 右チャンネルのスピーカーに接続します。
- ②左チャンネルスピーカー端子: 左チャンネルのスピーカーに接続します。

### ご注意！！

スピーカーケーブル端子はYラグ端子のものをお奨めします。

本機のスピーカー端子は、左右で+/-の位置が異なります。充分確認してスピーカーケーブルを接続してください。

- ③電源ケーブルソケット: 電源ケーブルを接続します。
- ④メイン電源スイッチ: メイン電源のオン=オフをします。
- ⑤ダイレクト入力端子 (RCA)
- ⑥ダイレクト入力端子 (XLR)
- ⑦クロスオーバー入力端子 (RCA)
- ⑧クロスオーバー入力端子 (XLR)
- ⑨サービスマンテナンス用端子: 通常は使用しません。
- ⑩ヒューズソケット: ヒューズが切れたときに交換します。スペアのヒューズが中に入っています。

## 10. 接続について

### ご注意！！

本機のメイン電源スイッチを入れる前に、入出力の接続を全て行ってください。

### § 電源ケーブルの接続

- 電源ケーブルを、リアパネル中央の電源ケーブルソケットに接続します。

### § プリアンプとの接続

- 本機とプリアンプを、XLRまたはRCA端子のケーブルで接続します。

### ご注意！！

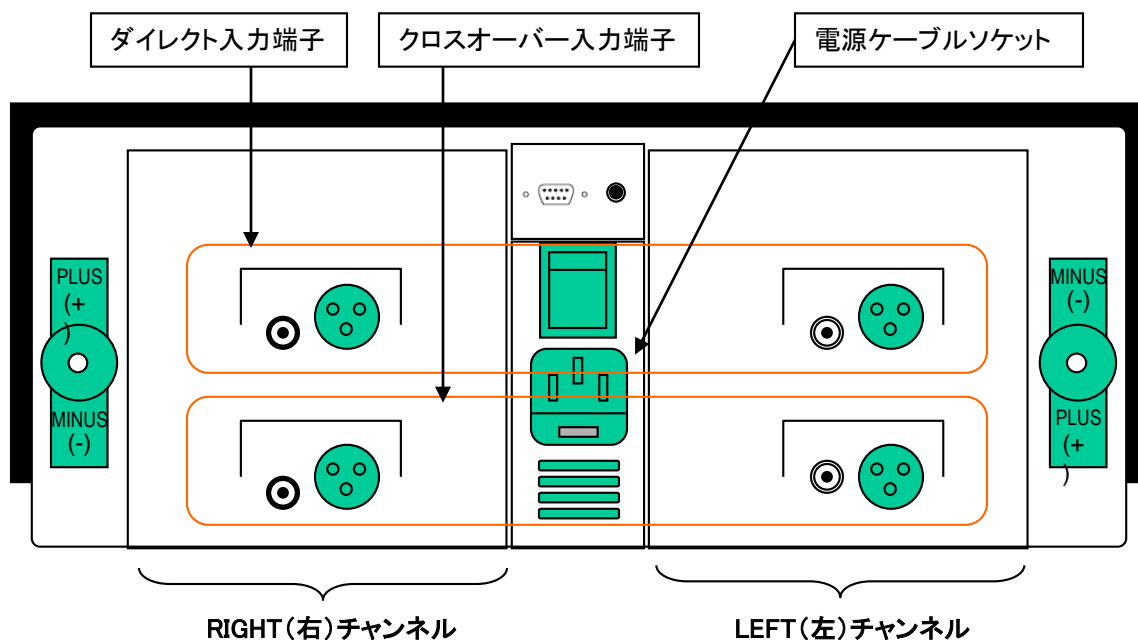
入力端子にケーブルを接続するときは、必ず**ミュート**して(P. 14参照)から行ってください。

### 内部クロスオーバーを使用する場合:クロスオーバー入力端子に接続

本機は、ハイパスフィルタを装備しています。アクティブサブウーファーなどを使用する際は、クロスオーバー入力端子に接続してください。クロスオーバー周波数は変更することができます(P. 15参照)。

### ダイレクトにパワーアンプに入力する場合:ダイレクト入力端子に接続

通常使用する端子です。



## 10. 接続について(つづき)

### § スピーカーとの接続

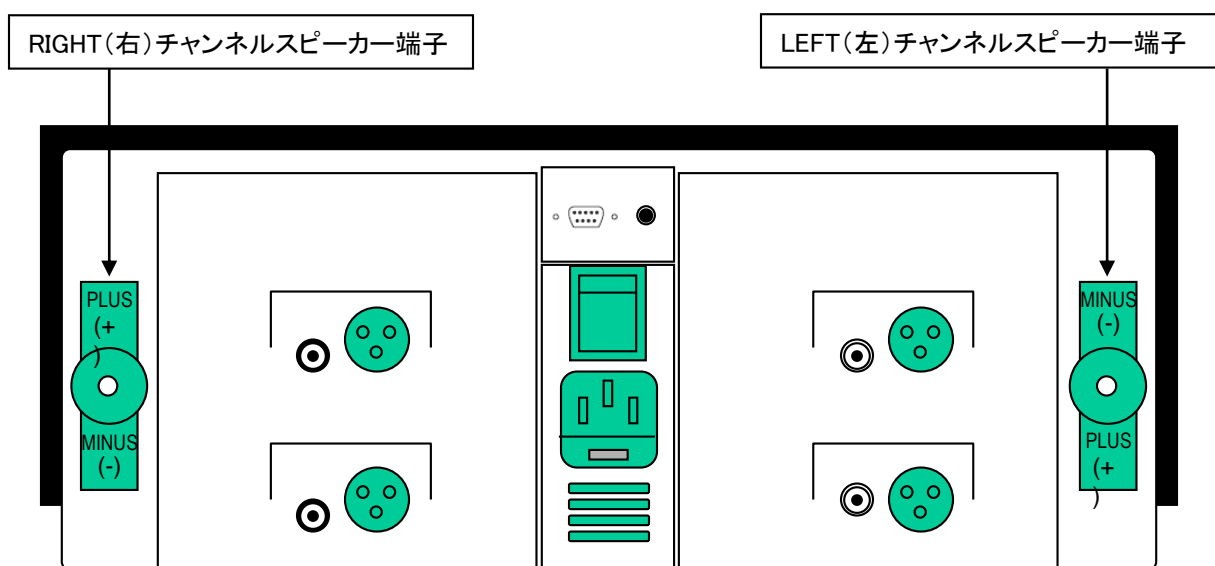
- ・ スピーカーケーブルを用いて、本機とスピーカーを接続します。スピーカー端子は本機リアパネルの左右の端にあります。

#### ご注意！！

スピーカー端子にスピーカーケーブルを接続するときは、必ずメイン電源スイッチをオフにしてください。

スピーカーケーブル端子はYラグ端子のものをお奨めします。

スピーカー端子の極性(+/-)は、右チャンネルと左チャンネルで異なります。下図ならびに実機の表記をよく確認して接続を行ってください。



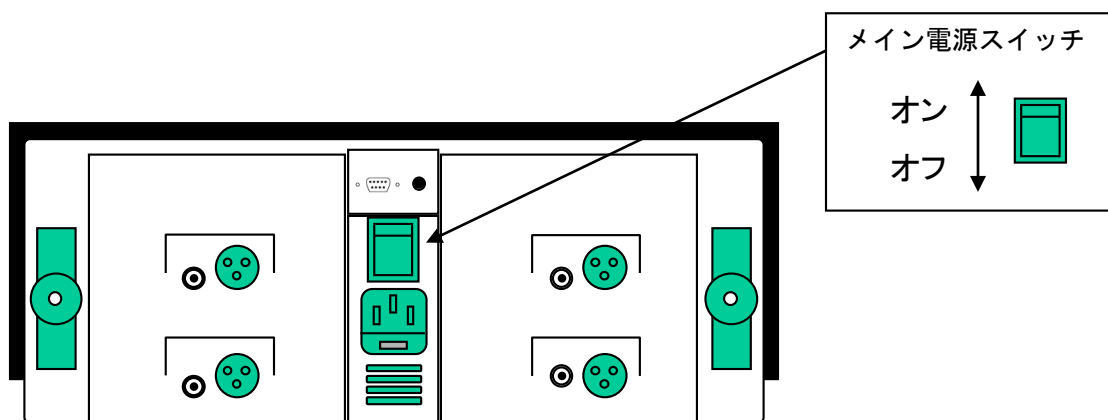
## 11. 使用方法

### § メイン電源スイッチをオン=オフする

- ・ リアパネルのメイン電源スイッチでメイン電源のオン=オフを行います。
- ・ メイン電源をオンにするとスタンバイ状態になり、スタンバイLEDが赤になります。

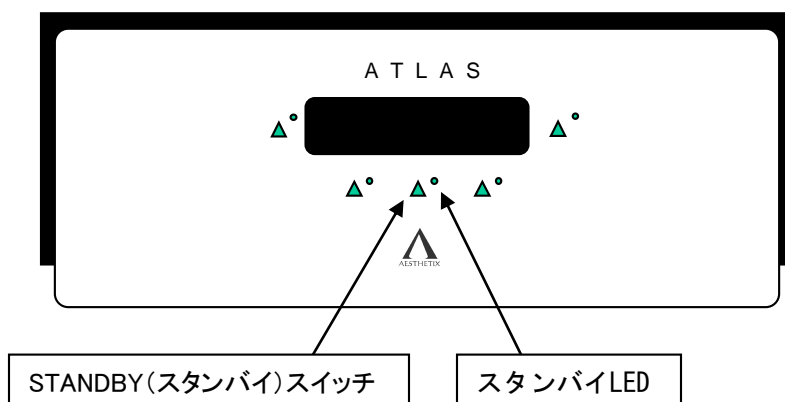
#### ご注意！！

メイン電源スイッチをオフにするときは、スタンバイ状態にしてから行ってください。



### § スタンバイ=オペレート切換え

- ・ STANDBY(スタンバイ)スイッチを押すと、スタンバイLEDが約30秒間点滅した後青に変わり、オペレート(動作)状態になります。
- ・ もう一度スタンバイスイッチを押すと、スタンバイ状態になり、赤LEDが点灯します。



#### ご注意！！

本機をスタンバイ状態からオペレートに復帰させるときは、接続している機器の電源を全てオンにしてください。

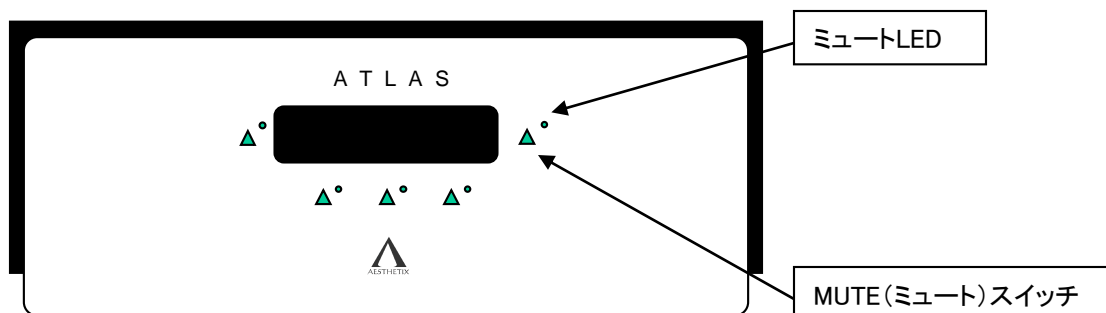
## 11. 使用方法(つづき)

### § ミュート

- ・ MUTE(ミュート)スイッチを押すとミュート(消音)機能が働き、ミュートLEDが点灯します。

#### ご注意！！

音楽を再生しているときにミュートするときは必ずプリアンプ側でミュートするようにし、本機でミュートしないでください。真空管の寿命を縮めるおそれがあります。



### § 入力端子選択

#### ご注意！！

入力端子選択を行うときは、必ずミュートしてから行ってください。

- ・ INPUT(インプット)スイッチを押し、入力端子選択メニューを開きます。
- ・ 表示窓に、現在選択されている入力が表示されます。
- ・ 接続した入力端子を選択します。

SE 1:ダイレクト入力(RCA)

BAL 1:ダイレクト入力(XLR)

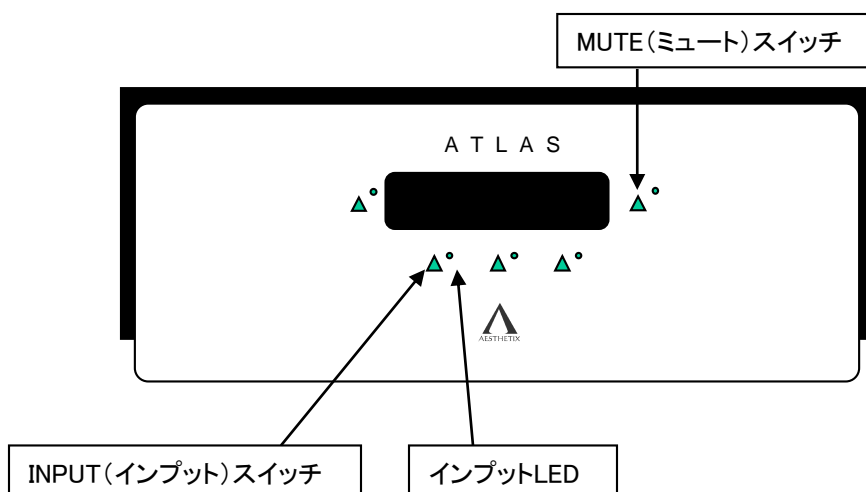
SE 2:クロスオーバー入力(RCA)

BAL 2:クロスオーバー入力(XLR)

\*ダイレクト入力、クロスオーバー入力に関してはP. 11、15参照

- ・ 設定を変更するときは左ボタンまたは右ボタンを押して選択します(P. 9参照)。右ボタンを押すと次の項目、左ボタンを押すと前の項目を選択します。
- ・ 入力端子選択メニューを終了するには、インプットスイッチを再度押してください。

## 11. 使用方法(つづき)



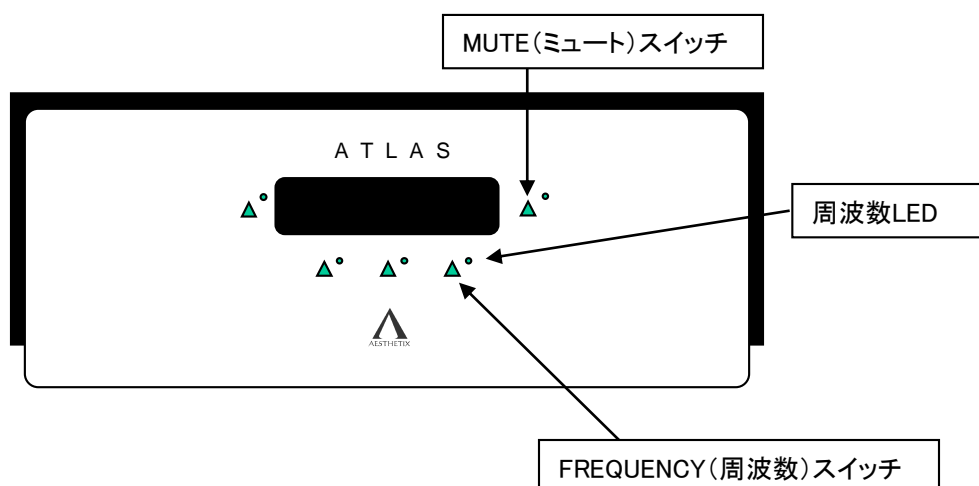
### § クロスオーバー周波数選択

- ・ クロスオーバー入力使用時の、ハイパスフィルタのクロスオーバー周波数を変更することができます。

#### ご注意！！

クロスオーバー周波数セレクトを行うときは、必ず本機をミュートしてください。

- ・ FREQUENCY(周波数)スイッチを押し、クロスオーバー周波数選択メニューを開きます。
- ・ 周波数LEDが点灯し、現在のクロスオーバー周波数設定が表示されます。
- ・ 左ボタンまたは右ボタンを押してクロスオーバー周波数の変更をします(P. 9参照)。右側を押すと数字が大きくなり、左側を押すと数字が小さくなります。
- ・ 使用可能な周波数の値は、以下の通りです。  
《40、50、60、70、80、90、100、120、125、135、145、155、170、180、190、200》Hz
- ・ 周波数スイッチを再度押し、周波数メニューを終了します。



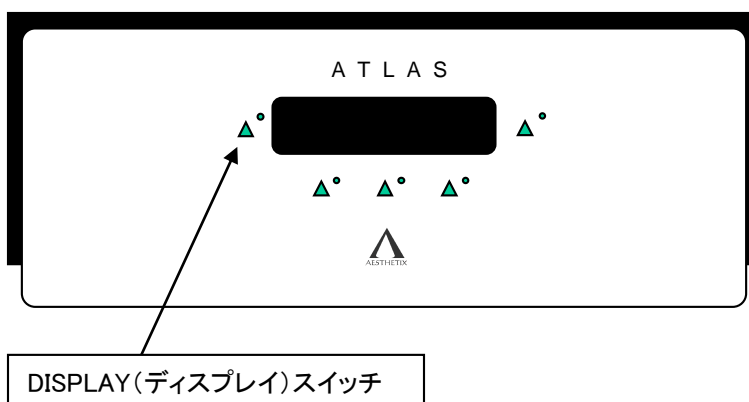


## 11. 使用方法(つづき)

---

### § ディスプレイ表示のオン=オフ

- ・ 表示のオン=オフを行います。
- ・ DISPLAY(ディスプレイ)スイッチを押すと、表示窓のディスプレイ表示と全てのLEDが消灯します。
- ・ もう一度押すと、ディスプレイ表示とLEDがオンになります。



## 12. エラー表示について

---

- ・ 本機のディスプレイにエラー表示が出たときは、何らかのトラブルが考えられます。次の指示に従ってください。

「LEFT FUSE PLUS」 → LEFTチャンネルのプラス側のヒューズが飛んでいます。

「LEFT FUSE NEG」 → LEFTチャンネルのマイナス側のヒューズが飛んでいます。

「RITE FUSE PLUS」 → RIGHTチャンネルのプラス側のヒューズが飛んでいます。

「RITE FUSE NEG」 → RIGHTチャンネルのマイナス側のヒューズが飛んでいます。

- ・ ヒューズが飛んでしまった場合は、お買い求めになった販売店または輸入元までご相談ください。

「HOT」 → ヒートシンクの温度が85°Cを越えています。

- ・ ただちに本機の電源をオフにしてください。
- ・ 異常に加熱する場合は、何らかのトラブルが考えられます。販売店もしくは輸入元にご相談ください。

「OC」 → 出力からDCが出ています。

- ・ ただちに本機の電源をオフにし、販売店または輸入元にご相談ください。
- ・ エラーが表示された場合は、その原因が取り除かれな限りスタンバイ状態から復帰しません。
- ・ エラーの原因が不明の場合は、本機のメイン電源をオフにし、お買い求めになった販売店、もしくは輸入元にご相談ください。

## 13. 仕様

---

- Inputs: 1 Single-ended and 1 Balanced per channel for the Direct Input.  
1 Single-ended and 1 Balanced per channel for the Crossover Input.  
Input Impedance: Direct: 530k $\Omega$  Single-ended or Balanced for each phase.  
Crossover: Variable.  
Input Sensitivity: (Balanced) 2.50V RMS typical input for 299W into 8 $\Omega$   
Gain: (Balanced) 24dB.  
Polarity: (Single Ended) Non-Inverting.  
(Balanced) Pin-2=Positive, Pin-3=Negative for Non-Inverting Output.
- Outputs: 1 Balanced output per channel.
- I/O: RS232: 1 DB9 connector.
- Modes/Process: Standby, High Pass Crossover.
- Power Output: (8 $\Omega$ ) 200W (rated) 250W(typical at 1% THD, one channel, 210W both channels driven)  
(4 $\Omega$ ) 400W (rated) 410W(typical, one channel driven)
- Frequency Response:  
(-3dB points @ full power) 0.3Hz – 150kHz.
- THD+Noise: <1.0% (both channels driven at 200W into 8 $\Omega$ )
- Trigger Inputs: 1/8" Jack, operates on either 5-12V DC Pulse < 100ms or 5-12V DC.
- Dimensions: 454mm(W) x 191mm(H) x 457mm(D).
- Weight: 32.67kg
- Maximum Operating Temperature:  
Internal: 80°C  
Room: 50°C
- Fuses: Mains: 10A SB @ 100V AC.  
Power Supply: 2A SB @ 100V AC.  
Audio Outs: 10A SB @ 100V AC.

**Zephyr** inc.  
*Zephyr*

株式会社 ゼファン / 173-0026 東京都板橋区中丸町51-10  
Tel: 03-5917-4500 / Fax: 03-3958-9324